

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2026 年 6 月 4 日

山口県知事 様

提出者

住 所 山口県山口市吉敷下東4丁目19番24

氏 名 大和ハウス工業株式会社 山口支店

建築工事部 山口工事課 田中

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

大和ハウス工業株式会社 山口支店

支店長 立石 出

電話番号 083-920-4970

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称 大和ハウス工業株式会社 山口支店

事業場の所在地 山口県山口市吉敷下東4丁目19番24

事業の種類 総合建設業

産業廃棄物処理計画
における計画期間 2025年4月1日～2026年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,977 t	全処理委託量	1,977 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

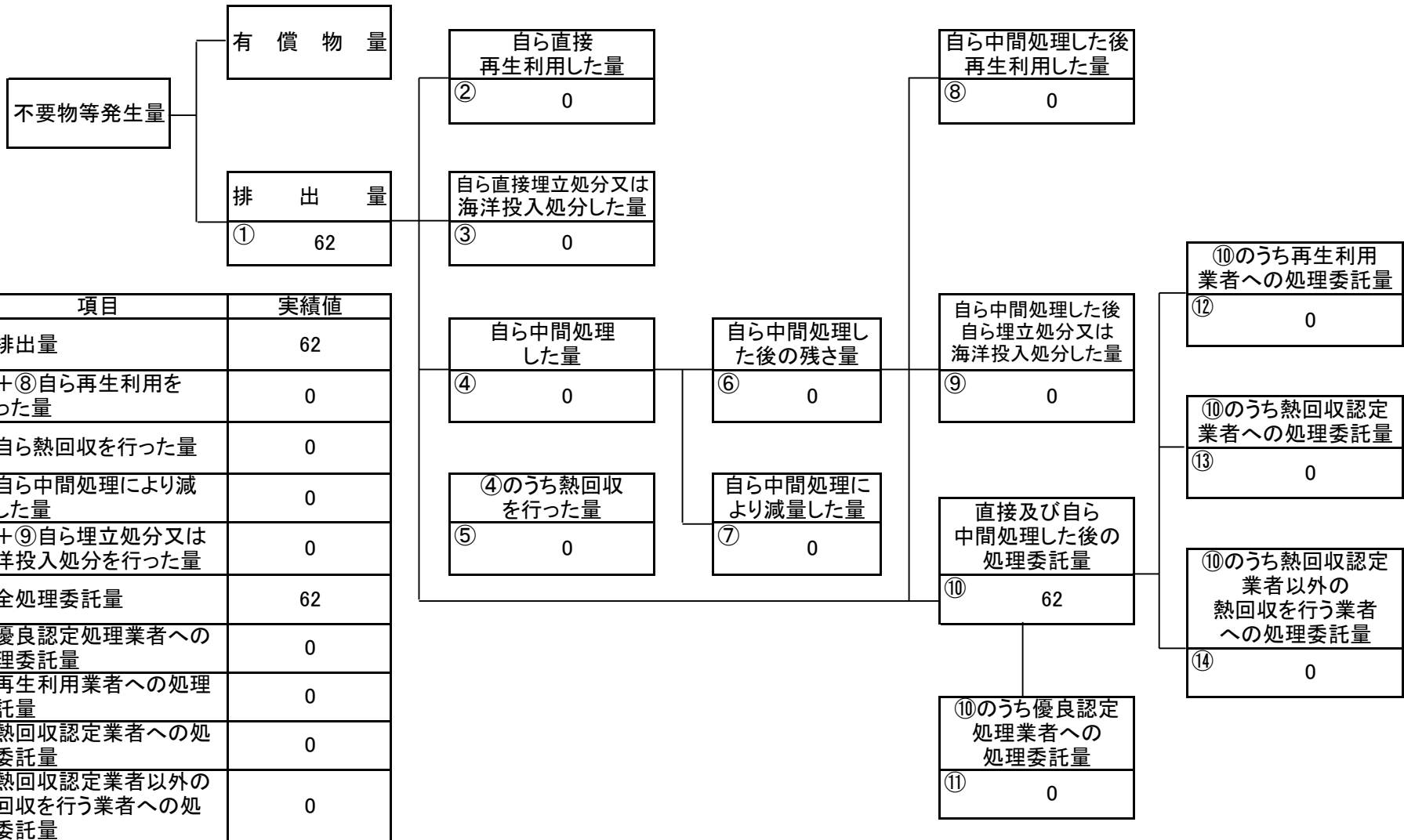
多量排出事業者 名 称	大和ハウス工業株式会社 山口支店	所在地(市町名)	山口市	事業の種類	総合建設業
-------------	------------------	----------	-----	-------	-------

Confidential

区分	種 類	計 画 の 実 施 状 況										注 意 事 項									
		①排出量	② 自ら直接発生 利用した量	③ 自ら直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	④ 自ら中間処理 した量	⑤ 自ら中間処理 を行った量	⑥ 自ら中間処理 した量、自ら 発生処分又は 海洋投入処分 した量	⑦ 自ら中間処理 した量、発生 処分又は海洋 投入処分した 量	⑧ 直接及び自 ら中間処理 後の処理委託 量	⑨ ⑨のうち 国等への 処理委託量		⑩ ⑩のうち 国等への 処理委託量		⑪ ⑪のうち 国等への 処理委託量		⑫ ⑫のうち 国等への 処理委託量		⑬ ⑬のうち 国等への 処理委託量		⑭ ⑭のうち 国等への 処理委託量	
									⑨のうち 国等への 処理委託量	⑩のうち 国等への 処理委託量	⑪のうち 国等への 処理委託量	⑫のうち 国等への 処理委託量	⑬のうち 国等への 処理委託量	⑭のうち 国等への 処理委託量	⑮のうち 国等への 処理委託量	⑯のうち 国等への 処理委託量	⑰のうち 国等への 処理委託量	⑱のうち 国等への 処理委託量	⑲のうち 国等への 処理委託量	⑳のうち 国等への 処理委託量	
産業 廃棄物	燃え殻	0						0	0				0								
	汚泥	62						62	0				62	10	52						
	廃油	0						0	0				0								
	廃酸	0						0	0				0								
	廃アルカリ	0						0	0				0								
	廃プラスチック類	146						146	82	82	51	51	12	12							
	紙くず	38						38	34	34	1	1	2	2							
	木くず	176						176	113	113	34	34	29	29							
	繊維くず	0						0	0	0			0	0							
	動植物性残さ	0						0	0	0			0	0							
資 源 物	動物系固形不燃物	0						0	0	0			0	0							
	ゴムくず	0						0	0	0			0	0							
	金属くず	190						191	179	179			4	8	8						
	ガラス(びん、コンクリートくず、陶磁器くず)	273						274	155	155	54	54	65	65							
	繊維くず	0						0	0	0			0	0							
	がれき類	2,989						2,800	1,955	1,955	0		645	645							
	動物のふん尿	0						0	0	0			0	0							
	動物の死体	0						0	0	0			0	0							
	ばいじん	0						0	0	0			0	0							
	13号産業物	0						0	0	0			0	0							
計 (A)		3,484	0	0	0	0	0	0	3,487	2,518	2,518	0	144	0	144	825	773	52	0	0	

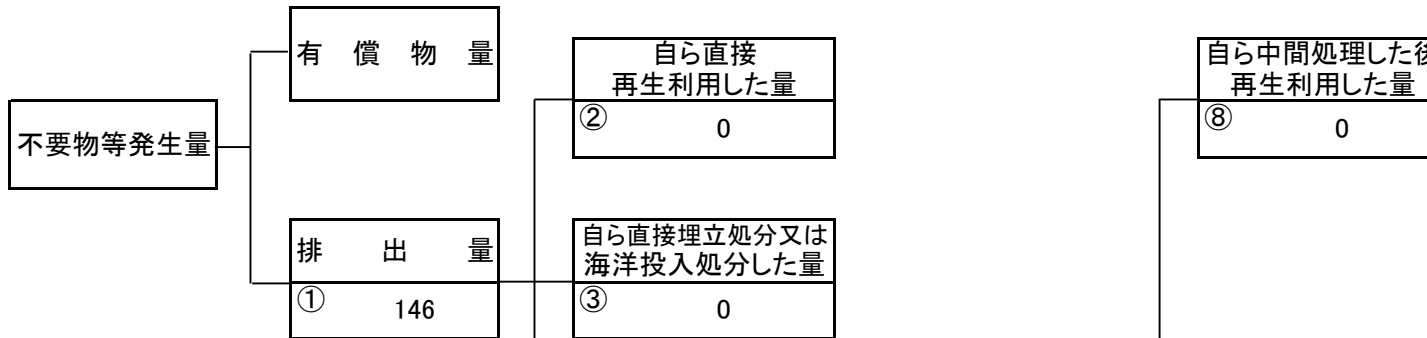
①輸出量	②+③自來水利用を行った量	④自來水供給を行った量	⑤自來水中間貯蔵により減した量	電 力		⑧省エネ設備等による削減された量	⑨再生エネルギーの活用による削減された量	⑩自然環境保全等の削減による削減された量	⑪気候変動対策による削減された量
				⑥+⑦自來水立上り区分又は海水取入れ割合を行った量	⑧非水協賛事業				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62	0	0	0	0	62	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
148	0	0	0	0	148	0	83	0	0
38	0	0	0	0	38	0	34	0	0
176	0	0	0	0	176	0	113	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
190	0	0	0	0	191	0	179	0	0
273	0	0	0	0	274	0	155	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2,589	0	0	0	0	2,600	0	1,955	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3,484	0	0	0	0	3,487	0	2,318	0	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥)

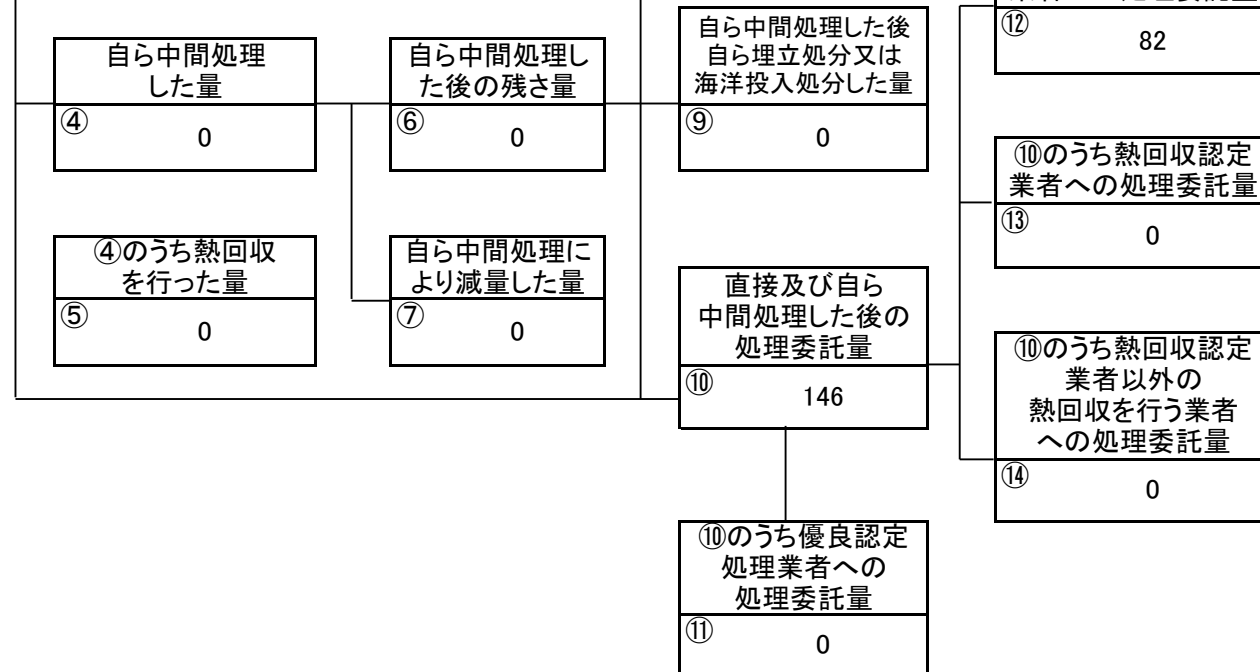


(第2画)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

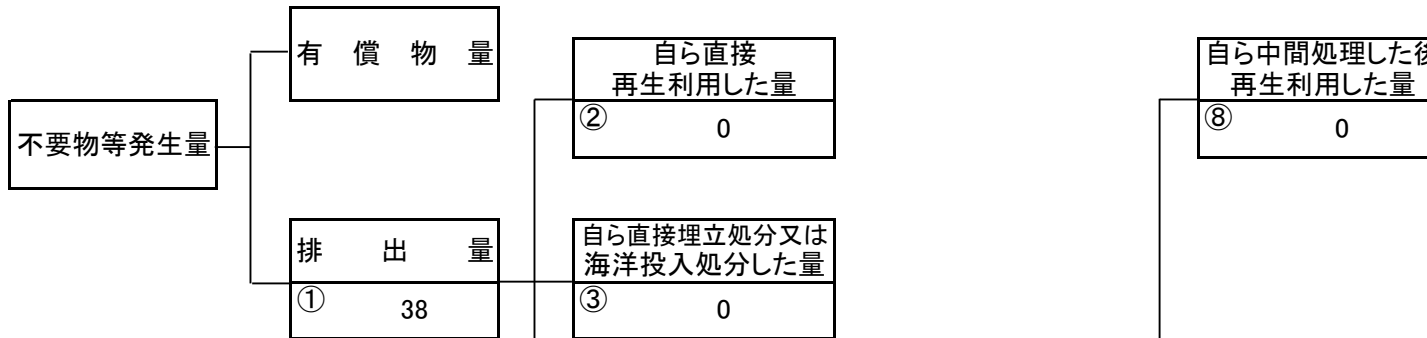


項目	実績値
①排出量	146
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	146
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	82
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

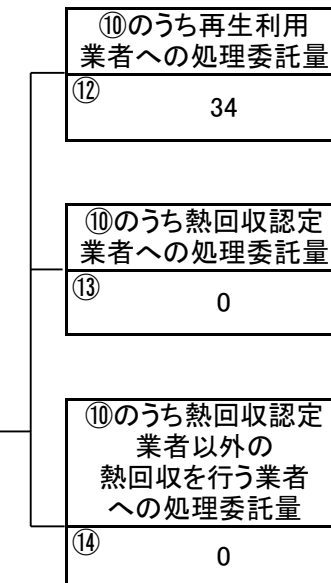


(第2画)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 紙くず)

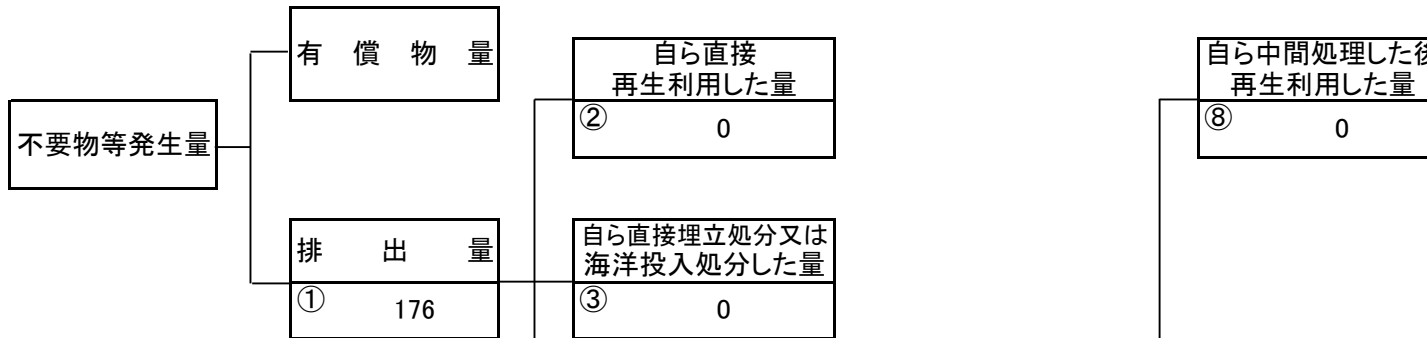


項目	実績値
①排出量	38
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	38
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	34
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

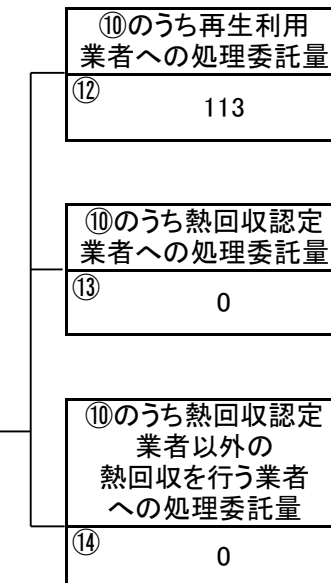


(第2画)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)

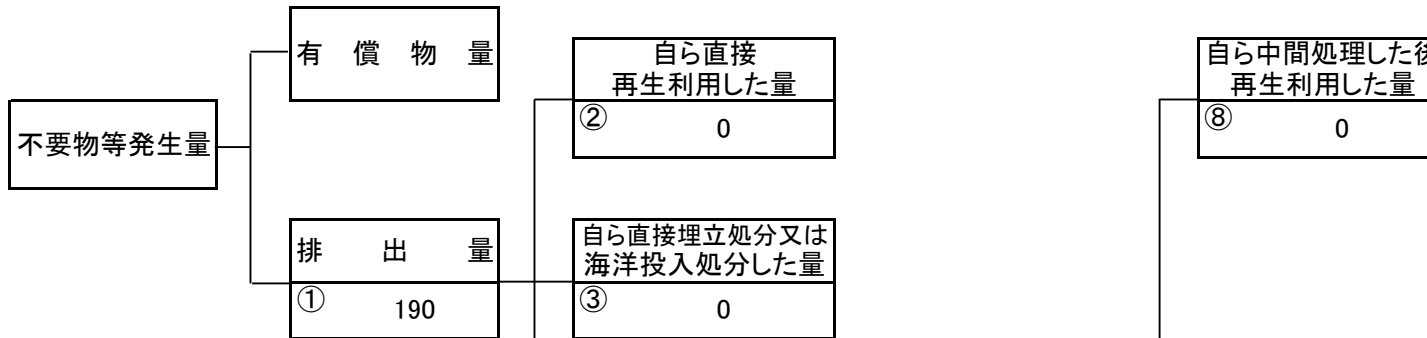


項目	実績値
①排出量	176
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	176
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	113
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

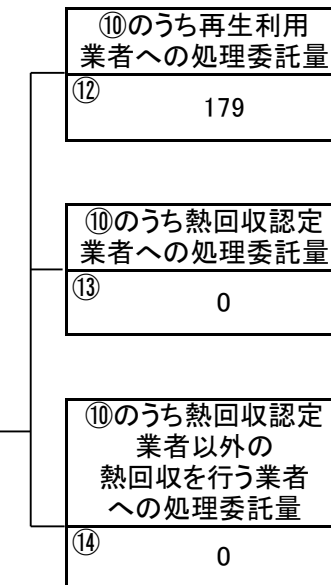


(第2画)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 金属くず)

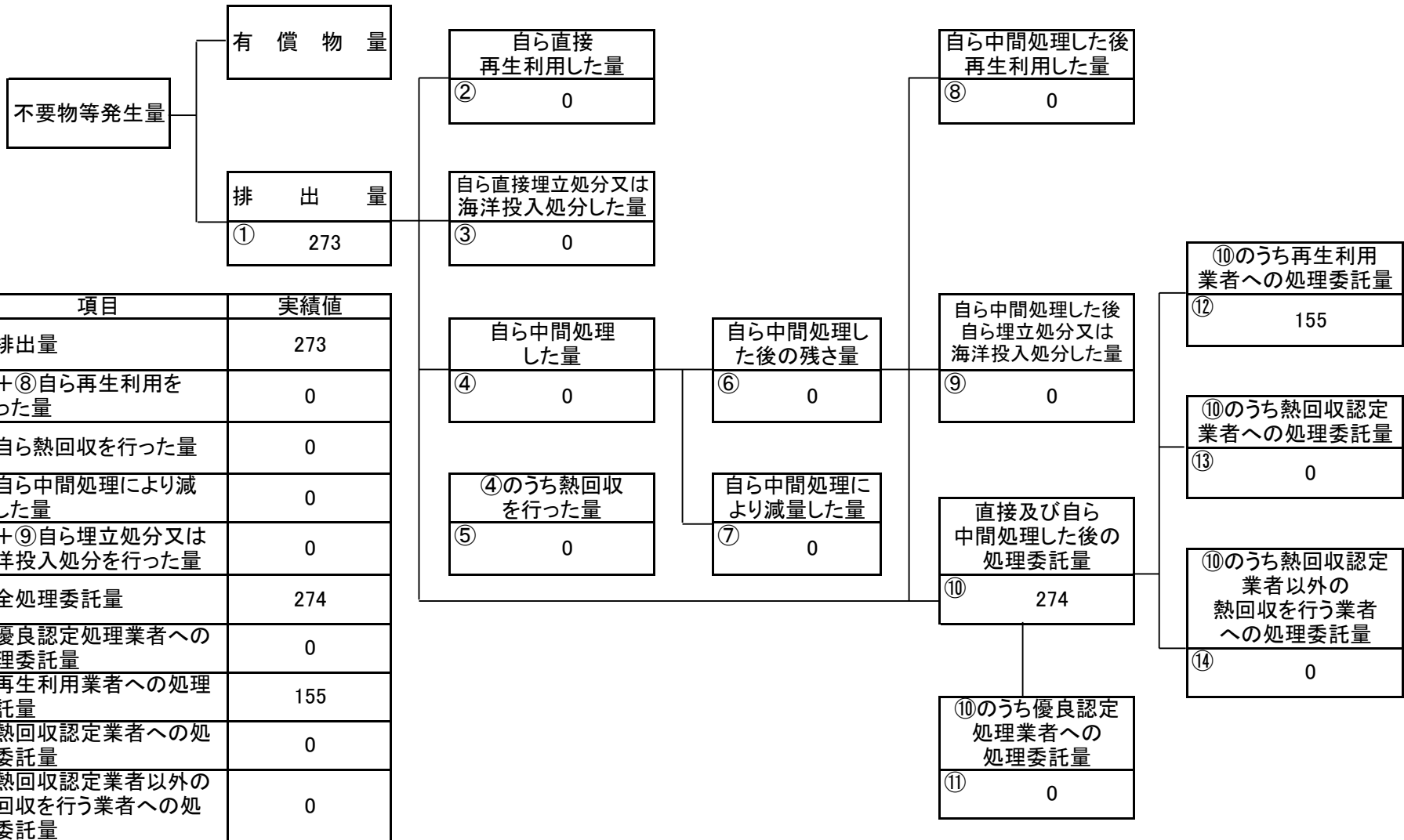


項目	実績値
①排出量	190
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	191
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	179
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



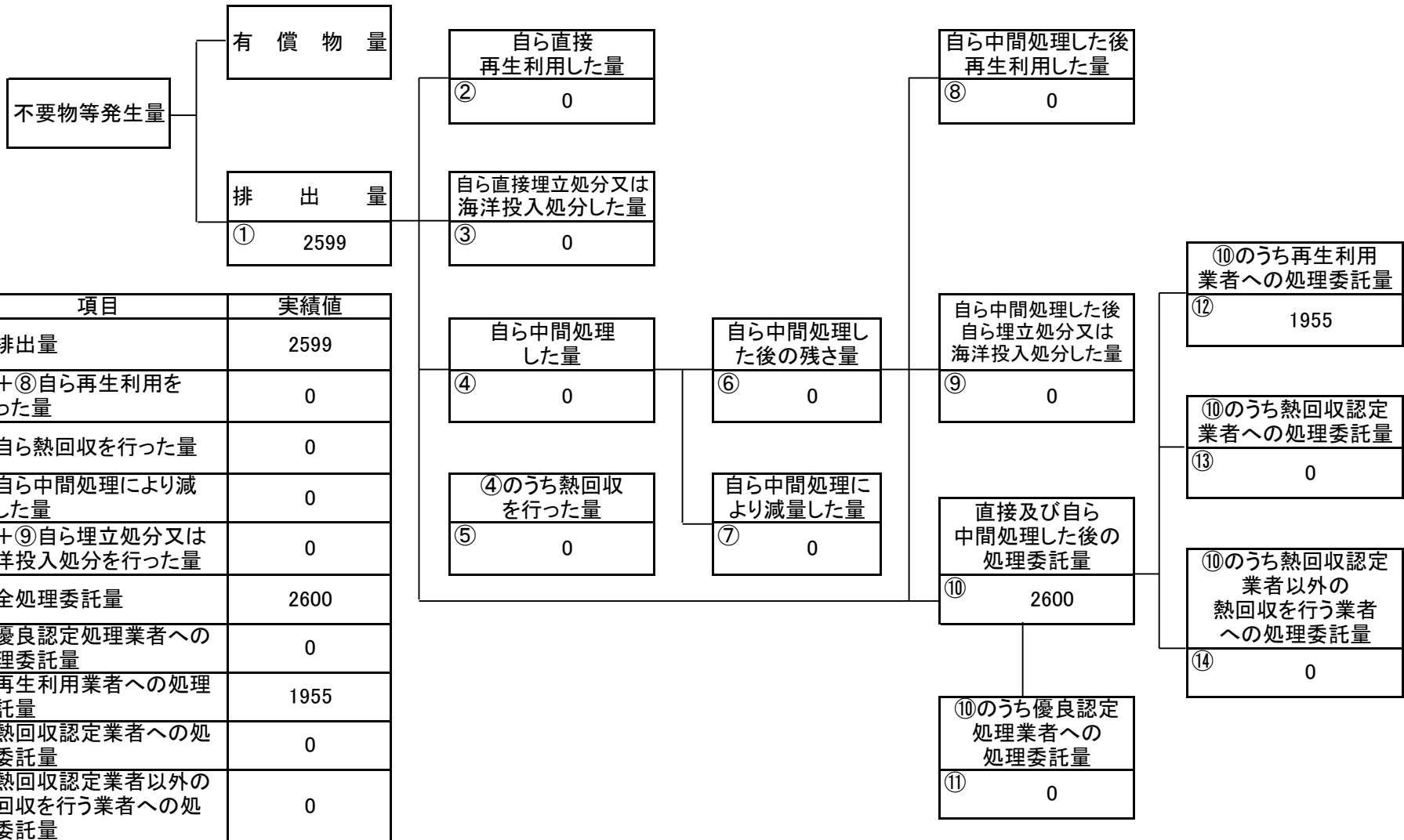
(第2画)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)



(第2画)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類)



(第2画)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。